

政策体系	政策No.	4	政策名	育み磨きあうまちづくり			施策主管課	教育総務課	
	施策No.	1	施策名	学校教育の充実	重点施策		施策主管課長名	久保 隆義	
施策関係課名	霧島ジオパーク推進課、教育総務課、学校教育課、保健体育課、生涯学習課、メディアセンター、国分中央高校								
<b>1 基本計画期間(平成25年度～平成29年度)における施策の方針</b>									
<p>■子どもたちが社会を生き抜く力を身に付けるため、確かな学力の定着、思いやりの心と目標を持ち続け努力する心の醸成及び健康づくりや体力の向上を図る。</p> <p>■安心・安全な教育環境を確保するため、年次的な教育施設改修等や防災教育及び交通安全教室などによる安全教育の推進を図るとともに、人材、自然などの地域の教育力を活用して、特色ある教育活動を推進する。</p> <p>■国分中央高等学校をより魅力ある専門高校とするため、新設学科を中心に教育環境を整備し、生徒の進路決定率を高める。</p>									
<b>2 施策の目的と成果把握</b>									
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		幼稚園児、児童、生徒							
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
A	幼稚園児の人数(※市立、私立)	人	見込み値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
			実績値	1,776					
B	児童(小学生)の人数(※市立)	人	見込み値	8,143	7,527	7,441	7,531	7,553	7,687
			実績値	7,639					
C	生徒(中・高)の人数(※市立)	人	見込み値	4,616	4,716	4,721	4,589	4,543	4,429
			実績値	4,777					
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		知・徳・体の調和の取れた成長をする							
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)							
		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
A	「基礎・基本」定着度調査の県平均通過率に対する本市平均通過率の割合(市立小5)	%	成り行き値	101.0	101.0	101.0	101.0	101.0	101.0
			目標値	101.6	101.8	102.0	102.3	102.6	103.0
			実績値	101.2					
			達成率	100%					
			結果	○					
B	「基礎・基本」定着度調査の県平均通過率に対する本市平均通過率の割合(市立中1)	%	成り行き値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
			目標値	98.3	98.6	99.0	99.3	99.6	100.0
			実績値	98.2					
			達成率	100%					
			結果	○					
C	「基礎・基本」定着度調査の県平均通過率に対する本市平均通過率の割合(市立中2)	%	成り行き値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
			目標値	98.3	98.6	99.0	99.3	99.6	100.0
			実績値	97.7					
			達成率	99%					
			結果	○					
D	児童生徒のあいさつや、交通ルールを守るマナーが良くなっていると思う市民の割合	%	成り行き値		54.0	54.0	54.0	54.0	54.0
			目標値		56.0	58.0	60.0	62.0	64.0
			実績値	57.2					
			達成率						
			結果						
E	体力テスト(小5・中2)の県平均値に対する本市の平均値の割合	%	成り行き値		99.0	98.0	97.0	96.0	95.0
			目標値		100.5	101.0	101.5	102.0	102.0
			実績値	99.4					
			達成率						
			結果						
F	進路について真剣に考え、模試や資格取得等に積極的に取り組んでいる生徒の割合(国分中央高等学校)	%	成り行き値		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
			目標値		86.0	86.0	87.0	87.0	88.0
			実績値	85.0					
			達成率						
			結果						

⑤ 成果指標の測定方法（実際にどのように実績を把握するか）	⑥ 平成29年度の目標値設定の考え方
<p>A 「基礎・基本」定着度調査の県平均通過率に対する本市平均通過率の割合（市立小5）</p> <p>B 「基礎・基本」定着度調査の県平均通過率に対する本市平均通過率の割合（市立中1）</p> <p>C 「基礎・基本」定着度調査の県平均通過率に対する本市平均通過率の割合（市立中2）</p> <p>※A, B, C 小学校5年生、中学校1、2年生を対象として実施している「基礎・基本」定着度調査結果</p> <p>D 児童生徒のあいさつや、交通ルールを守るマナーが良くなっていると思う市民の割合</p> <p>※総合計画進行管理に係る市民意識調査</p> <p>E 体力テスト(小5・中2)の県平均値に対する本市の平均値の割合</p> <p>F 進路について真剣に考え、模試や資格取得等に積極的に取り組んでいる生徒の割合(国分中央高等学校)</p> <p>※国分中央高校生の「生徒による学校生活に関する自己評価」</p>	<p>A B C 「「基礎・基本」定着度調査の県平均通過率に対する本市平均通過率の割合」については、平成23年度の県の通過率は、小5が70.9%、中1が70.2%、中2が65.8%であるのに対し、本市の通過率は、小5が71.7%、中1が68.8%、中2が64.3%で、小5は県平均を上回っているものの、中1・2は県平均に届いていないことから、様々な対策を講じることで、小5は103%、中1・2は100%を目標値とする。</p> <p>D 「児童生徒のあいさつや、交通ルールを守るマナーが良くなっていると思う市民の割合」については、市民意識調査(平成23年度)によると54.0%の市民がマナーが良くなっていると回答していることから、学校教育や地域の教育力向上を通じて、10ポイント改善することを目指す。</p> <p>E 「体力テスト(小5・中2)の県平均値に対する本市の平均値の割合」については、学校体育の充実や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団活動及び部活動を活性化することにより、県平均値以上の102%を目標値とする。</p> <p>F 「進路について真剣に考え、模試や資格取得等に積極的に取り組んでいる生徒の割合(国分中央高等学校)」については、平成21年度の実績が84.7%、平成22年度の実績が85.3%、平成23年度の実績が85.3%で、学年別で平成23年度を見ると、高1が83.0%、高2が82.0%、高3が91.0%であり、1・2年生が平均を下げる要因となっていることから、1・2年生の意識を高める指導を行うことで、2.7ポイント改善することを目指す。</p>

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- 「計画→実践→評価→改善」のサイクルにのっとった学力向上プランを推進する必要がある。また、授業力の向上を目指して、教職員研修のあり方を検討する必要がある。さらに、中学校進路指導の充実を図る必要がある。
- 特別支援教育を充実するため、学校全体としての共通理解や、保護者に対する理解を深める必要がある。不登校を未然に防止するため、より一層関係機関との連携を強化するとともに、長期化傾向の不登校の児童生徒への対策を強化する必要がある。
- 「教育の情報化」に対応するため、ICT(情報コミュニケーション技術)教材や校内ネットワークの整備等を進める必要がある。
- 運動不足や体を動かさず機会の減少による体力の低下が問題となっていることから、運動不足傾向の児童生徒に対する働きかけを行う必要がある。また、食育については、子どもたちへの食に関する指導の充実とPTAなどと連携して保護者も含めた意識高揚を図る必要がある。
- 特色ある教育活動の指導を行う人材の確保や人材リストの作成、近隣の学校間での情報共有等、学校応援団の活性化を図る必要がある。
- 小学校入学後の適応能力向上のため、幼稚園教育要領に基づき、基本的生活習慣の定着を図る必要がある。
- 国分中央高校は、生徒数の確保と就職・進学率向上に引き続き努めていく必要がある。また、魅力ある専門高校にするため、高度資格取得のための実習環境等の整備や、部活動の推進等を図る必要がある。
- 国分中央高校の新設学科(スポーツ健康科・ビジネス情報科)の教育内容を充実させるため、特色あるカリキュラムの実施や、計画的に必要な施設・設備の整備を進める必要がある。
- 児童生徒等の安心・安全な教育環境を確保するため、年次計画に基づき大規模改造等の校舎リニューアルを進める必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア) 行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ) 市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学校               <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な指導により、児童生徒の学力、道徳性、体力の向上を図る。地域や保護者には、学校活動の公開や情報発信に努める。</li> </ul> </li> <li>■ 教育委員会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興基本計画の見直し。</li> <li>・教職員への指導・助言により、資質の向上を図る。</li> <li>・教育環境の整備。</li> </ul> </li> <li>■ 県、文部科学省               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の任命及び指導、助言。</li> <li>・学習指導要領の完全実施。</li> <li>・教育振興基本計画の見直し。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家庭               <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習(6090運動)の習慣化を図る。</li> <li>・あいさつの励行。</li> <li>・一家庭一家訓の実施。</li> <li>・運動の習慣をつける。</li> </ul> </li> <li>■ 地域、コミュニティ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校交通安全指導やあいさつ運動等、地域における子どもたちへの声かけの励行。</li> <li>・学校・地域の各種行事への参加。</li> <li>・学校応援団への積極的な参加。</li> </ul> </li> </ul>

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 児童生徒数の増減について、地域間格差が顕著になる。
- 学校教育に関する地域や保護者の関心が一層高まる。
- 学習指導要領の完全実施に伴い、教職員の資質向上を更に図る必要がある。
- 校舎等の老朽化により、修繕、大規模改造等が必要になってくる。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- 学力・体力向上や心の教育の推進をさらに図るべきとの声がある。
- 少人数指導や特別支援教育など、個のニーズに応じた指導の充実を求める声がある。
- より適切な教育環境の整備が求められている。

5 施策の現状

① 平成24年度施策の取組方針	② 平成24年度施策の取組方針の達成状況

③ 平成24年度施策の目標値と実績値の比較	④ 平成24年度施策の成果指標の達成状況及び要因																																						
<p>目標達成 ◎ 105%以上            目標をほぼ達成 ○ 95%~105%未満            目標を未達成 △ 95%未満</p> <table border="1" data-bbox="108 1697 571 1917"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平成24年度成果指標</th> <th rowspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>D</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>E</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>F</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		平成24年度成果指標			結果	目標値	実績値	達成率	A					B					C					D					E					F					
		平成24年度成果指標				結果																																	
	目標値	実績値	達成率																																				
A																																							
B																																							
C																																							
D																																							
E																																							
F																																							

⑤ 基本事業の 目標達成度 (平成24年度目標と 実績との比較)	○=すべての目標値を達成 △=一部の目標値を達成 ×=すべての目標値を未達成			
①			⑤	
②			⑥	
③			⑦	
④			⑧	

**6 平成25年度の施策の取組方針** (昨年度マネジメントシートより)**7 平成26年度に向けた施策の課題・方向性**

- 児童生徒の夢や志を育むために、幼・小・中・高連携や個に応じた指導等を通して、学力向上を基盤とした進路指導の充実を図る。
- 児童生徒の思いやりの心を育てるために、学校での心を磨く体験活動を通して、心の教育の一層の推進を図る。  
なお、いじめ問題への適切な対応をするために、いじめ問題対策支援室を新たに設置する。
- 安心安全な教育環境を確保するために、小学校校舎等の大規模改造工事や、国分中央高校の校舎改築工事を引き続き行う。  
また、児童生徒の安全を確保するために、交通事故防止や防災などの安全教育の更なる充実を図るとともに、通学路の合同点検を実施するなど、関係機関との連携を強化していく。
- 食育の充実を図り、安心安全な給食を提供するために、国分地区の一部の自校方式の調理場の整備と福山地区の学校給食センター建設のための基本設計を行うとともに、各給食施設の適切な維持管理に努める。
- スポーツ健康科の充実を主眼とした施設等の整備を行い、部活動等の支援を強化するとともに、生徒の進路決定率を高めながら、国分中央高校を魅力ある専門高校にする。

- 児童生徒の夢や志を根幹に据えた進路指導を含めた生き方指導を推進するとともに、指導法改善をさらに推進し、学力向上を図る。
- 児童生徒の思いやりの心や規範意識を高める取組をさらに具体化し、心の教育の一層の推進を図る。また、不登校、いじめ問題に関して関係機関との連携を図った取組をさらに推進する。(※大学との連携、スクールソーシャルワーカー等との連携)
- 年次計画に基づき学校施設等の整備を進める。  
また、スクールガード・リーダーが積極的に校区の連絡会等へ参加するなど、学校や地域との連携を深めることによって、事件や事故の防止に繋げる。
- 学校給食の安定運営のために、既存の給食センターの適切な維持管理を行う必要があるので、学校給食施設整備計画等に基づいて、関係課と連携し年次的に施設整備を進める。
- 高度資格取得のための実習環境等の整備や部活動等の支援を強化するとともに、生徒の進路決定率を高めながら国分中央高校を魅力ある専門高校にする。

基本事業No.	4-1-1	基本事業名	学力の向上と個性を育む教育の推進	基本事業 主担当課	学校教育課
---------	-------	-------	------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針					
①基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>■小・中学校の進路指導の充実を図り、児童生徒の夢や志を育む。</li> <li>■教職員の指導力向上を図り、児童生徒一人ひとりが分かる授業づくりに取り組む。</li> </ul>					
②対象	・児童 ・生徒 ・教職員	③意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身に付ける</li> <li>・個に応じた指導が受けられる</li> <li>・指導力が身に付く</li> </ul>		

2 基本事業の指標等の推移		◎目標達成(105%以上)		○目標をほぼ達成(95%~105%未満)				△目標を未達成(95%未満)	
①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A 確かな学力を身に付けることができた児童生徒の割合	%	学校評価結果(教師)	成り行き値		65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
			目標値		70.0	71.0	72.0	73.0	74.0
			実績値	68.4					
			達成率						
			結果						
B 個に応じた指導が受けられた児童生徒の割合	%	学校評価結果(教師)	成り行き値		70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
			目標値		78.0	80.0	82.0	84.0	86.0
			実績値	75.2					
			達成率						
			結果						
C 授業が楽しい、分かりやすいと回答した児童生徒の割合	%	学校評価結果(児童生徒)	成り行き値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
			目標値		80.0	82.0	84.0	86.0	88.0
			実績値	77.5					
			達成率						
			結果						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠	
<p>A 平成24年度の値を基に、毎年1%増を目指し、平成29年度は74%の児童生徒が確かな学力を身に付けることができるようにする。</p> <p>B 平成24年度の値を基に、毎年2%増を目指し、平成29年度は86%児童生徒が個に応じた指導が受けられるようにする。</p> <p>C 平成24年度の値を基に、毎年2%増を目指し、平成29年度は88%の児童生徒が授業が楽しく分かりやすいと回答できるよう授業改善を行う。</p>	

4 平成24年度基本事業の取組方針	5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

7 平成25年度基本事業の取組方針	8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>■児童生徒が基礎、基本を身に付けるための具体策について、学校間で温度差があるため、市内の先行事例を紹介するなど、これまで以上に積極的に学校への働きかけを行う。</li> <li>■個に応じたきめ細やかな学習指導を行う必要があるため、教科によっては習熟度別の授業を行うなど、各学校により一層の工夫を求める。</li> <li>■教員がよりわかりやすい授業を実践できるよう、電子黒板活用研修会を企画するなど、教員の資質向上に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■児童生徒が意欲的に学習に取り組み、思考しながら、成就感・達成感を得られるような授業づくりがなされるよう学校の実態に応じた働きかけを行う。</li> <li>■個に応じたきめ細やかな学習指導を行うための工夫を学校の実態に応じて行う。</li> <li>■分かりやすい授業づくりに向けて、デジタル教科書や電子黒板の効果的活用に向けた研修を充実させる。</li> <li>■小・中・高一一体となった英語教育の推進を図る。</li> </ul>

基本事業No.	4-1-2	基本事業名	豊かな心を育む教育の推進	基本事業 主担当課	学校教育課
---------	-------	-------	--------------	--------------	-------

**1 基本事業の目的、取組み方針**

①基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)

■道徳の授業や体験活動を活かして、思いやりや感謝の心などを育てる。  
 ■学校と家庭の連携を推進し、基本的な生活習慣の定着を図る。

②対象	・児童 ・生徒	③意図	・規範意識や他人を思いやる心、正義感を持つ ・あいさつをはじめとする基本的な生活習慣が身に付く
-----	------------	-----	--

**2 基本事業の指標等の推移** ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	規範意識や思いやりの心をもっている児童生徒の割合	%	学校評価結果(教師)	成り行き値		75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
				目標値		80.0	81.0	82.0	83.0	84.0
				実績値	78.4					
				達成率						
B	あいさつができていない児童生徒の割合	%	学校評価結果(教師)	成り行き値	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0
				目標値		88.0	89.0	90.0	91.0	92.0
				実績値	86.1					
				達成率						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

**3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠**

A 平成24年度の値を基に、毎年1%増を目指し、平成29年度は84%の児童生徒が規範意識や思いやりの心をもてるようにする。  
 B 平成24年度の値を基に、毎年1%増を目指し、平成29年度は92%の児童生徒があいさつができるようにする。

**4 平成24年度基本事業の取組方針** | **5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況**

--	--

**6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因**

--

**7 平成25年度基本事業の取組方針** | **8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

<p>■いじめの起こらない学校づくりを進めるため、教員の学級経営力を高めていく必要がある。併せて、問題を一人で抱え込まず、学校全体で解決しようとする機運を醸成していく。                  ■心身ともに健全な児童生徒を育成するため、誰にでも、いつでも気持ちの良いあいさつのできる「あいさつ運動」に市内全域で取り組む。</p>	<p>■いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けての取組を具体化する。                  ■不登校の未然防止に向けた取組、不登校児童生徒への支援を重点的に行う。                  ■市内の全児童生徒が「あいさつ運動」の意義を理解した上で取り組み、いつでも誰にでも気持ちよいあいさつができるようにする。</p>
---	---



基本事業No.	4-1-4	基本事業名	特色ある教育活動と開かれた学校づくりの推進	基本事業 主担当課	学校教育課
---------	-------	-------	-----------------------	--------------	-------

**1 基本事業の目的、取組み方針**

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
地域の特色や人材を活かして、活気ある学校づくりを行うとともに、保護者や地域住民が学校を訪れる機会を積極的に設ける。	
②対象	学校
③意図	地域の特色や教育力を活用して活性化する

**2 基本事業の指標等の推移** ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	地域の特色や人材を活かした教育活動の件数	件	実態調査	成り行き値		420	420	420	420	420
				目標値		480	485	490	495	500
				実績値	474					
				達成率						
				結果						
B	「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」に学校を訪れた人数	人	実態調査	成り行き値		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
				目標値		21,050	21,100	21,150	21,200	21,250
				実績値	21,001					
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

**3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠**

A	平成24年度の値を基に、毎年5件増を目指し、平成29年度は500件の地域の特色や人材を活かした教育活動が行われるようにする。
B	平成24年度の値を基に、毎年50人増を目指し、平成29年度は21,250人の方々が学校を訪れることができるようにする。

**4 平成24年度基本事業の取組方針**      **5 平成24年度取組方針の達成状況**

--	--

**6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因**

--

**7 平成25年度基本事業の取組方針**      **8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域ぐるみで学校を応援していこうとする機運を高めるため、学校のニーズを的確に把握し、有効な人材活用を促進する。</li> <li>■世界ジオパーク認定に向け、副教材「ふるさとの山霧島山」を活用した授業やジオガイドを活用した登山等を奨励し、特色ある教育活動を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自校の実態を生かしつつ、地域の人材活用を図り特色ある開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>■教職員、児童生徒が霧島ジオパーク及びジオパークについての理解を深めることができるような方策を具体化する。</li> </ul>
--	---



基本事業No.	4-1-5	基本事業名	教育環境の整備	基本事業 主担当課	教育総務課 学校教育課
---------	-------	-------	---------	--------------	----------------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)

- 年次計画に基づき、大規模改造等の校舎整備を行い、児童生徒の安心・安全な教育環境を確保する。
- 児童生徒を事件、事故等から守るため、安全教育の更なる充実を図るとともに、地域や関係機関等との連携強化に努める。
- 適切な公的支援を行い、児童生徒が安心して教育を受けられるように努める。

②対 象

・児童  
・生徒

③意 図

・適切な教育環境で教育が受けられる  
・安心して教育が受けられる

2 基本事業の指標等の推移

◎ 目標達成(105%以上)

○ 目標をほぼ達成(95%~105%未満)

△ 目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値 区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	非構造部材(天井、外壁等)の耐震基準を満たした学校施設の割合	%	校舎、体育館の非構造部材の耐震化率	成り行き値	20.83	20.83	20.83	20.83	20.83	20.83
				目標値	20.83	22.92	27.08	29.17	29.17	33.33
				実績値	20.83					
				達成率	100%					
				結果	○					
B	児童生徒にとって安心して教育が受けられる環境が整っていると考える学校の割合	%	学校評価結果	成り行き値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
				目標値		69.0	69.5	70.0	70.5	71.0
				実績値	68.1					
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

- A 施設整備計画に基づき年次的に改修していくことで、平成29年度までには非構造部材の3分の1の改修を終えることとした。
- B 平成24年度の値を基に、毎年0.5%増を目指し、平成29年度は71%の学校が児童生徒が安心して教育が受けられる環境が整っていると考えるようにする。

4 平成24年度基本事業の取組方針

5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況

--	--

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

--

7 平成25年度基本事業の取組方針

8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性

- 非構造部材の耐震化が懸案事項であるため、国の動向を注視しながら適切な対処方法の検討を進める。
- 教育を受ける機会を保障するため、適時、適切に各家庭に対し財政的な支援を行う。
- 関係機関との連携による通学路の安全対策のための合同点検を実施するとともに、防災教育モデル実践事業等による防災教育の充実を図る。

- 天井落下の危険性のある体育館等の改修計画を策定する。
- 教育を受ける機会を保障するため、適時、適切に各家庭に対し財政的な支援を行う。
- 通学路の安全対策については、引き続き合同点検を含む関係機関との連携を図ることとし、防災教育においては避難行動への対応力を高め、地域との連携に取り組んでいくこととする。

基本事業No.	4-1-6	基本事業名	幼稚園教育の推進	基本事業 主担当課	学校教育課
---------	-------	-------	----------	--------------	-------

**1 基本事業の目的、取組み方針**

①基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)

様々な体験を通して人とかかわる力や、基本的なしつけを身に付けさせるとともに、小学校へのスムーズな接続を図る。

②対 象 園児(3~5歳)

③意 図 基本的な生活習慣が身に付く

**2 基本事業の指標等の推移**

◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	基本的なしつけや集団行動が身に付いた園児の割合	%	学校(園)評価	成り行き値	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0
				目標値	91.0	88.2	88.3	88.4	88.5	88.6
				実績値	86.7					
				達成率	95%					
				結果	○					
B				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
D				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

**3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠**

A 平成23年度実績の88.0%を基に、年次的に基本的なしつけや集団行動が身に付いた園児の割合を高めることとした。

**4 平成24年度基本事業の取組方針**

**5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況**

--	--

**6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因**

--

**7 平成25年度基本事業の取組方針**

**8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

<p>園児の小学校への円滑な接続を図る必要があるため、基本的な生活習慣等が身につくことを重点テーマとして教育活動を行う。</p>	<p>小学校への円滑な接続を図るために、幼稚園教諭等の研修を充実させ、幼小連携を推進する。</p>
--	---

基本事業No.	4-1-7	基本事業名	魅力ある高等学校教育の推進	基本事業 主担当課	国分中央高校
---------	-------	-------	---------------	--------------	--------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)

- 進学・就職指導の充実を図り、専門性豊かな人材づくりに努め、生徒の進路決定率を高める。
- 体育館など、教育環境の改善・充実を進め、高等学校の活性化を図る。

②対象	・市立高校の生徒 ・学校の施設、設備	③意図	・専門性豊かな人材に育つ ・教育環境が整う
-----	-----------------------	-----	--------------------------

2 基本事業の指標等の推移

◎目標達成(105%以上)

○目標をほぼ達成(95%~105%未満)

△目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	高度資格取得のべ人数	人	市立高校の管理データ	成り行き値	750	750	750	750	750	750
				目標値		770	780	790	800	810
				実績値	752					
				達成率						
				結果						
B	就職・進学率	%	市立高校の管理データ	成り行き値	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
				目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績値	97.0					
				達成率						
				結果						
C	「学校が楽しい」と回答した生徒の割合	%	市立高校の管理データ	成り行き値	88.0	87.0	86.0	85.0	84.0	83.0
				目標値		89.0	90.0	91.0	92.0	93.0
				実績値	89.0					
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

- A 平成24年度から、生徒数が1クラス減になるため、過去3年間の最低値である平成24年度の761人を基に、年次的に10人ずつ増やすこととした。
- B 将来に対する目的意識を持たないまま卒業する生徒を皆無とするため。
- C 平成24年度実績をベースとして、平成23年度の92%を最終的には上回ることを目標とした。

4 平成24年度基本事業の取組方針

5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況

--	--

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

--

7 平成25年度基本事業の取組方針

8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性

- 専門高校のさらなる魅力アップのため、年次計画に基づき学校施設等の整備を進める。
- 新設学科の初めての卒業生が誕生する年度となるため、一人ひとりが希望する進路を実現できるよう支援を行う。

- 教育環境の改善・充実を図るため、国分中央高校校舎改築工事に伴う渡り廊下・昇降口の設計委託業務を行う。
- 生徒数の確保と進学・就職率の更なる向上を図るため、部活動等の支援や進学・就職指導の充実に努める。

--	--